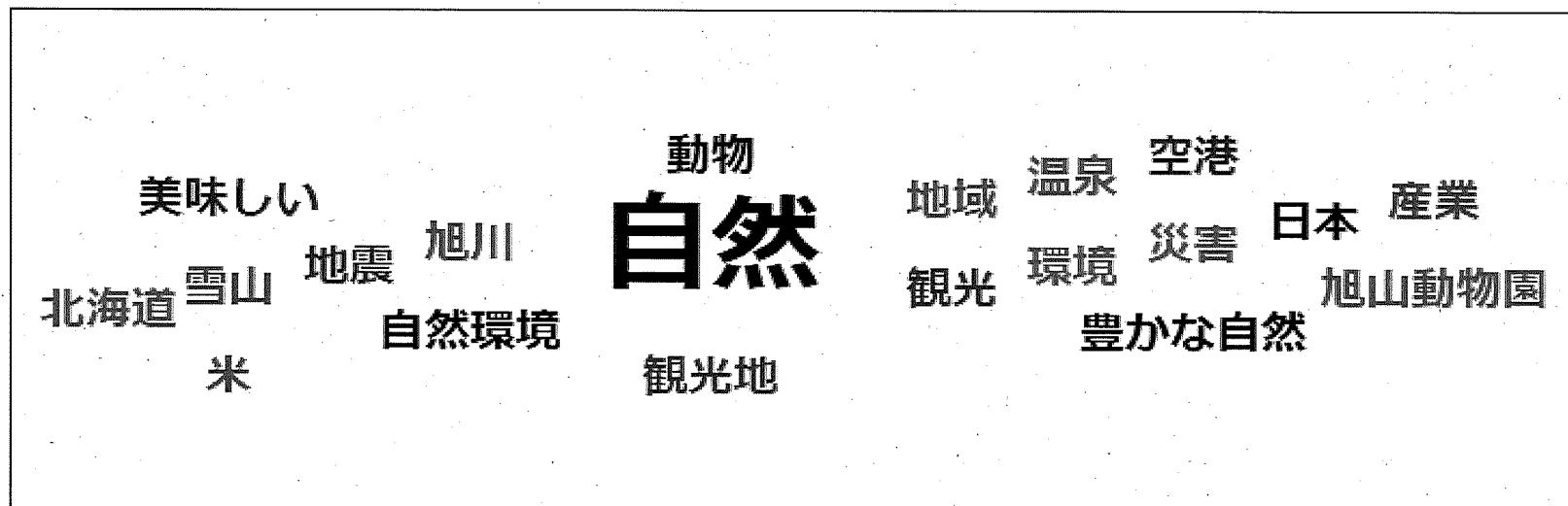


1.あなたの考える道北地域の強み（好きなところ、魅力）は何だと思いますか？

【388の回答】



※一部の誤字等について編集しています。

食・農産物	アスパラ 豊かな農林水産品 豊富な農水産物 豊かな農林水産品 新鮮で美味しい食材が豊富 北海道はお米もおいしくなってきており、食に関する事はどの都道府県にも負けてない 美味しい農産物がたくさんある 東川町の水道は大雪山の湧水を使っているのでおいしい。 農産物 もち米の生産量全国一 B級グルメやソウルフードが美味しい 上川の気候、地形を生かした農産物の生産 美味しい農産物がたくさんあるところ。 「食」 塩ホルモン ラーメン 食べ物が美味しい ラーメン メロン 豊かな食 食べ物が美味しい 美味しい水 農業生産物による美味しい食べ物 農作物の豊富さ 南部から北部にかけ、景観や農産物等地域産品が大きくうつりかわること。 和寒のかばちや、越冬キャベツ 食べ物がおいしい 海に近くない割には、海鮮がおいしい 農産物に付加価値がつく 海の幸、山の幸、食事が美味しい 食べ物（水、米、魚、野菜、乳製品）が美味しい 食料自給率が高い 大自然と食べ物 多様な農業 きのこおいしい 水がおいしい 食べものおいしい きのこが有名、きのこのおまつりに参加したい ご飯がおいしい 宗谷管内の漁業、畜産など。 日本の食料基地として担っている。特に、一次産業の米、野菜、水産品 豊富な農水産物 おいしい食べ物 水がおいしい 食べ物がおいしい 野菜(食べ物)がおいしい 道内の他の地域とは違ったおいしい食べ物がある 食べ物がおいしい 天塩のしじみ 食べ物がおいしい 旭川の食べマルシェが好き 食事がおいしい 幌加内そばは日本一！！(毎年來ます) 食べ物がおいしい 知名度が高い(幌加内そば) 食べ物がおいしい 幌加内そば 和寒のかばちや グルメが最高 幌加内そば(生産量が日本一) 農作物が豊富 地形的には道内の中心にあり、米・野菜や海産物（日本海・オホーツク産）が入手しやすい 食べ物がおいしい 特産品(食物) きのこ(愛別) いちご(比布)	食・農産物 農は國の基 人は國の宝 愛別は北海道のどまん中です。今年のお米はおまかせ下さい。 日本海とオホーツクの両方の海からもたらされる海産物 旭川・富良野地域などの豊富な米などの農産物 全道の食材が集まる地域、一次産業の充実、自給率UPに貢献、コメ不足を起こさない 農産物が豊富なところ。	観光 各地域産業 【林業】森林面積は大きいはず。輸入木材が増え価格も安いが、道産木材のボテンシャルは高いので、まだまだ伸びしろはある。 森林資源による2.地域産業次産業（旭川家具、紙パルプ） 【農業】耕地面積は大きいはず。そしてまだまだ未開拓な地もあるはず。ただ、農業者の高齢化は止められない。 農業（米、小麦、もち米、そば、野菜） 【水産業】海水温上昇により北に行くほど良場となるが、最近は暖かすぎて稚内のホタテ漁にも影響がある 上川管内全体での一次産業。 産業が目玉 北海道第二の都市を抱えながらも豊富な自然資源と産業がある 一次産業 広大な土地による大規模な農業 鉱山の歴史が古いところ	名湯豊富温泉（湯治客が多い） 各地に温泉がある 観光客のための宿泊施設が少ない 豊かな自然と食、アクティビティ 旭山動物園や青い池、ラベンダー、パウダースノーなど魅力ある観光資源 石垣山(松浦武四郎の休んだところ) 美瑛～富良野方面の観光。 旭川～層雲峡方面的温泉。 観光が良い(ラベンダー、青い池、旭山動物園、宗谷岬など) サンピラー ひまわり 上野ファームはイングリッシュガーデンとしてとても癒される。 ホタテの貝殻を使った白い道 稚内の周氷河地形 大雪山系を抱え豊かな自然などの観光資源にあふれているところ 枝幸のカニ祭り 温泉 豊富な温泉(層雲峡や豊富など多種多様) スキーリフト 夏は毎週どこかしらで祭りをやっているところ 観光地 温泉資源があるところ 豊富温泉 利尻 パークゴルフ(良いコース)+そば 每年来る 風景がとてもいい 海鮮など、産業のお祭りが色々ある 景色が良い(オロロンライン) 旭川・富良野・美瑛は観光地として確立している パラスポーツやパラ活動と旭山動物園や青い池などを組み合わせる国内では稀なパラスポーツ観光の取り組みが進められている。 俗化されていない(隠れた) 観光地が多い地域 キャンプにぴったり(レジャー) 自然環境を活かした観光 工夫のまちー旭山動物園 各地に温泉が多くあるのが魅力
観光	豊かな自然をいかした観光地、地域の特産物による美味しい冬期のスキー・スノーボード アウトドア 【観光】見所がたくさんある。しかし、札幌が近いだけに札幌に泊まってしまう。観光箇所に宿泊してもらうようなプロジェクトが必要。 雄大な自然の中をサイクリングやツーリングで走るのが気持各地の温泉（層雲峠、天人峠、白金、十勝岳） 観光資源” 各地の山（登山、渓流、キャンプ、紅葉） 美瑛の丘などの自然の観光資源 冬雪を生かした観光 自然豊かな観光 自然を活かした観光地が点在している 広大な自然が残っており、自然を楽しむアウトドア活動が盛んなこと 観光資源が多い 夏のスキー場を活かしたイベントがあるところ。 旭山動物園 各市町村の博物館がよくできていて、新たな発見ができる観光地としての知名度（富良野、美瑛、旭山動物園、大雪山系の温泉地） 豊かな観光 冬場に特化した観光 冬のスポーツ、イベント（スキー、氷濱まつり） ウインターリースポーツ雪を活かす 安定した観光客の受け入れができる 観光資源が豊かである 自然を活かした観光地が点在している 青い池等のワールドクラスの観光資源とそれを支えるおしゃれな田舎町 世界最高水準のパウダースノー（冬期-4.自然環境5.脱炭素・温暖化度、積雪が安定、冬季スポーツが活発） パウダースノーが楽しみ スキー場の利用料金が安い パウダースノー ウインターリースポーツ 美瑛・富良野のブランド力 旭山動物園 青い池 富良野マルシェ 既に国際的に知名度の高い観光地がある 日曜日にウインターリースポーツがやりやすい その土地ならではの特色を活かしたお祭り（イベント）が多い 日本最北端がある・・・ライダー、サイクリストの聖地オロロンライン	自然環境 各地域産業 【林業】森林面積は大きいはず。輸入木材が増え価格も安いが、道産木材のボテンシャルは高いので、まだまだ伸びしろはある。 森林資源による2.地域産業次産業（旭川家具、紙パルプ） 【農業】耕地面積は大きいはず。そしてまだ未開拓な地もあるはず。ただ、農業者の高齢化は止められない。 農業（米、小麦、もち米、そば、野菜） 【水産業】海水温上昇により北に行くほど良場となるが、最近は暖かすぎて稚内のホタテ漁にも影響がある 上川管内全体での一次産業。 産業が目玉 北海道第二の都市を抱えながらも豊富な自然資源と産業がある 一次産業 広大な土地による大規模な農業 鉱山の歴史が古いところ	良質な雪（パウダースノー） メリハリのある四季 渓流釣り 緯度、地理、気候 紅葉・海・雪・青い空 広い盆地に根付いている農業、大雪山系からの恵まれた伏流水、これらがもたらした有数の米どころであること。 北海道には多彩な自然の色があります 圧倒的なスケール感を持つ景観の美しさ 豊かな自然、野鳥、動物が、普通に見られる 旭川以北の地域は、人が心地良く暮らせる地域 静かで穏やか地域 自然が豊かであり、身近で誰もが触れやすいところに自然があるところ 自然豊かで四季を感じられる 大自然が作り上げる美しい風景 写真映えスポットがたくさんある 大雪山など豊かな自然環境 自然環境 自然環境が豊か -30度観光 自然環境が豊かで美しいこと 大都市では体験できない、自然環境 豊かな自然環境 豊かな自然環境 自然が豊か 世界有数の雪の量と質 豊富な水資源、雪資源 日本列島で唯一四季を維持できそうな地域である。 自然そのもので、遊ぶこと。	

自然環境	JR車窓からの景色（山、自然） 豊かで広大な自然環境（足跡のない雪原、多様な動植物、北海道らしいアクティビティー）を利活用したポテンシャルの高い観光や学習コンテンツの資源の多さ。 温度差が大きく四季がはっきりしている 唯一の景観 どこまでも拡がる道 丘陵地帯 河川を活用したまちづくり なにもない広大な大地 美瑛、富良野などの絶景スポット 自然環境を生かした観光地 豊かな自然環境 自然環境と農業の共生 寒いこと 雪が多いこと 温暖化に伴い、本州に比べて夏期の気温が低い。 旭川は過ごしやすい場所 夜適度にすずしい 大雪山の風景 景色が良い 自然 自然環境が豊か 東川の大雪山の湧水（地下水） 四季がはっきりしている 寒い 雪が多い 広大で自然豊かな土地と生活（レジャー）においてとても良い気候 夏の涼しい気候 冬の寒冷な気候、雪 大雪山など雄大な自然 自然 自然が豊かで広大な土地を有し、四季折々の景色が見られる。 夏の気候が冷涼で過ごしやすい 大雪山国立公園、利尻礼文サロベツ国立公園がある 水が豊富（川、ダム湖、海） 森林資源が豊富 自然 自然豊か 山・海がある 星空キレイ 空気おいしい つりができる 暑くもあり寒くもある。 利活用可能な土地が多いと思う。 都市部から離れると自然豊かな風景が広がっているところ→東神楽や美瑛など 河川敷をサイクリングしたときに自然の豊かさを感じる 自然が豊か 豊かな自然環境 風景 自然 the自然 豊かな自然環境 夏が涼しい 大地が広い 山がキレイ 空気がキレイ 空がキレイ いろんな虫が見れるし観察したり捕まえたりできる 自然がいっぱい 空気がきれい 自然豊か 険しい山岳地帯でないところ 自然 ごちゃごちゃしていない 平和（自然多い） 夏、暑すぎない 広大な高原、自然環境、水源等の豊富な資源 少し道を外れれば自然とふれており空気がおいしい。 広大な自然環境 厳しい冬 広大な北海道の持つ自然资源、天然資源、健康保養資源 四季がはっきりしている 夏暑く冬寒いと言ったはっきりした季節感、外で遊ぶには最適。 寒さ（寒くない地方に在住の人には） 豊かな自然環境 広大な景色～海沿いの景色 宗谷丘陵 自然豊か	自然環境 日本国内では数少ない季節感を堪能できる地域（夏は暑く冬は雪が降り寒い） 景色がいい 大雪山連峰や天塩川流域など豊かな自然 寒冷な厳しい冬の環境 見渡す限り農地・森林・山河にあふれている。 北海道の広大な面積や立地（天然資源など） 豊かな自然環境 広い土地 オロロンラインの景色がすばらしい 自然がいっぱい（ほどよい） 涼しく水量が豊富 豊かな自然 サケ、サクラマスなどの大型魚が最上流部まで遡上して産卵している自然環境 名寄のサンピラーや天塩川など道北ならではの豊かな自然環境に恵まれている 大雪山国立公園の玄関口 全国一早い紅葉と降雪 明確な四季にとんだ生活 自然が豊かなところ。 空気が美味しいところ。 手付かずの大自然 大雪山系を中心とした雄大な景観	交通・物流 空港が近い 海岸と内陸のアクセスが容易 国道が整備されて走りやすくなつたので、車があれば往来に不便はない 道路の交通量が少なく走りやすい 旭川の立地はどこに行くにも便利 空港が市街地に近く、本州方面にも行きやすい 空港就航率が高い	安全・安心 台風が少ない。 地震が少なく住みやすい 地震災害が極めて少ないところ 地震が少ない 本州に比べて災害が激甚化しない 地震が少ない 災害が少ない 災害要因（特に地震）が少ないとこと 台風や地震などの災害が少ない地域 名寄は過去の地震の最大震度は3かつほぼ地震がない。火山がない。酷暑日もない。凶悪犯罪も稀。 日本でも有数の災害が少ない地域 地震や台風などの被害がほとんど無い 大規模地震発生する確率低い 災害が少ない 地震が少ない 災害が少ない 災害が少ない 台風や地震等の自然災害がほかと比べると少ない。 旭川は自然災害が少ない 地震の発生率が最小 自然災害のリスク回避地 地震や台風など自然災害が少ないところ 災害が少ない（地震、台風） 梅雨がない 地震などの災害が少ないとこと 地震が少ない 地震、水害などの自然災害が少ない
脱炭素・温暖化	温化に伴うるち米の北限が北上する可能性 温化異常気象に耐える。 地熱発電 地熱発電や風力発電等の自然エネルギーの活用 風力発電、木質バイオマス等再生可能エネルギーのボテン 広大な森林資源によるCO2.地域産業の吸収力。 【風が強い】大規模な風力発電。まだまだ設置可能。大企業 も続々と参入している。 再生可能エネルギーのボテンシャル（風力・太陽光・水力・ バイオマス） 現時点では温化の影響が少ない（暑さ対策等） 再生可能エネルギー資源	その他 人が少ないので温かく迎えてもらえる。 若手が少なく新しい事を始めやすい。 都市の規模ちょうど良い アイヌ文化 領土保全の最前線。 人混みに会わないとこと。 我が国最北端にあたり、ロシア極東部、朝鮮半島、太平洋 北端とをつなぐ位置にあるといった地政学的ポジション。 旭川は道内拠点として優れている（自動車があれば） 旭川を中心に発展 地域おこし協力隊が元気！ 駅や市役所がきれい 企業誘致等に有利 土地が安い 剣淵町の絵本の里 士別は羊の町 ゆっくりとした時間 静かでいい ゆっくりとした時間 未来を考えるこの取組がいい！ 北海道の中央に位置するため、北海道全方位見据えた拠点。 除雪車がかっこいいです。 外で演奏する・歌う場所がいっぱいある 知名度が高い 旭川には満足（大阪と比べて） のどかな雰囲気 程よく活気がある 旭山動物園の「伝えるのは、命」のコンセプト		
くらし	穏やかな景色、日常 旭川市の川を活かした街並みが好き 心の大らかな人が多い（特に田舎） 道北の中心旭川に大規模医療施設（市立病院、医大、厚生病 院、日赤）が多くドクターヘリも配備されている 各地にコンビニがある 日本初の歩行者天国である平和通り賃物公園がある 子どもが遊べる場所多い 上川はみんな知り合いでいい町、住みやすい 人との距離感。都会は密すぎ 名寄市民は人が優しくてあたたかい 移住者で活気ある街づくりになってきている。美瑛、東川 家の庭でバーベキューができる 物価が安い 障がい児者や高齢者が一緒にスポーツ等を楽しめる「誰にも やさしいまちづくり」が続けられている 同意と共感のもと地域から北海道、さらには国内外からも交 流に訪れる人たちが増えている。 郡部では人口が少ないわりには公共施設が充実している。 (いつも比較的空いている) 名寄市で考えると特にないのでそれゆえに住みやすい。 道北といっても継に長く自分の住んでる名寄市で考えると旅 行人者は旭川より北は稚内へ目指すイメージ。観光地といって も集客が強いものがないが、逆に捉えるとオーパーツーリズ ムは皆無、よって静かに暮らすなら都合がいい 大学、高専など高等教育の人材あり 都市機能集積、医療集積 森林教育一北の森学院。人材育成の姿勢が明確 人、車、観光客が少ないのが魅力（上川北部）。			
交通・物流	空港が近い（もっと活かすべき・就航率が高い） 自然と商業の両立 東京都の距離が旭川空港のおかげで近く感じる 札幌からのアクセス、札幌に次ぐ都市圏としての利便性 道の駅の利用を増進 旭川を中心とした自然観光に適した道路ネットワーク 渋滞がない 国道や道道等の幹線道路の除雪が行き届いている 高規格道路がある 旭川は交通網がある程度充実している（旭川空港、JR、高速 道路、主要国道）。 旭川空港の就航率が95%以上。 就航率99パーセントを誇る旭川空港。 旭川空港の就航率が高く、各種イベントを安定して実施でき る 東京にも行きやすい			

2.あなたの考える道北地域の弱み（苦手なところ）は何だと思いますか？

【350の回答】



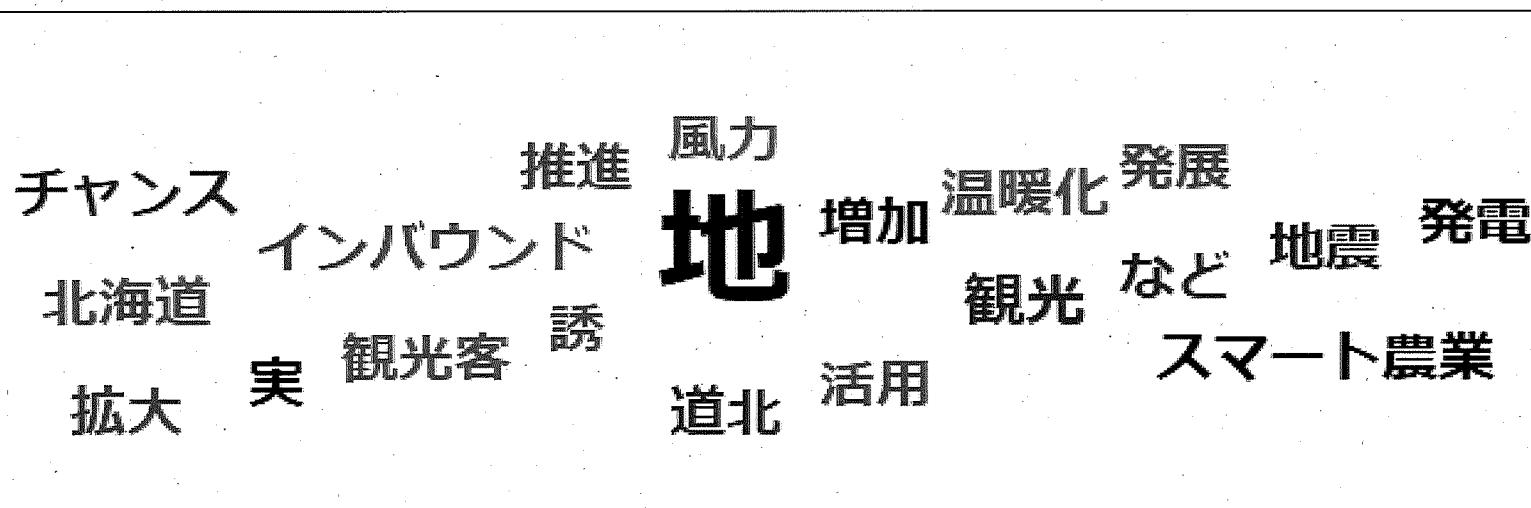
※一部の誤字等について編集しています。

食・農産物	食料生産地域の生活環境の脆弱さ 日本一のもち米の強みを発信できていない 農産品のレベルが高く多いが、PR不足 愛別町の特産物が買いづらい(きのこ、大福、お酒) 日本一、全道一のものを活かしきれていない そばが有名でも、十割そばがない 豊かな農水産物の食材を活かせない食品産業・飲食産業 名寄市は餅米が有名だが、新しいものを生み出そうというの が下手、またいものがあってもアピールがへた。例えば ①名寄(風運)の餅は雪見だいふくや赤福に使われているが 宣伝に使っていない(先方への許可は必要だが) ②名寄の餅米がうまいのは広大な餅米団地のおかげだがそれを説明していない(餅米は劣性遺伝子なのでうち米が近くにあるとうるち米に戻ってしまう。広大な餅米団地のおかげで名寄の餅米はほぼ100%餅米と宣伝してもいいと思う。 ③岩手県一関市は餅文化があり、食べ方も300種類あるとか。一口餅をいろんな食べ方で提供する餅膳は楽しい食べ方であるがこれを真似ようという考え方がないというか知らないのでは? 名寄の餅はそのものがうまい故に食べ方に工夫、改善が見られないのが残念なところ	地域産業	働く場所が減っている 工業出荷額が低い 魅力的かつ高額所得可能な業種・職種による求人	観光	観光する場所が分散しており回りにくい+宿泊施設の立地の悪さ。 観光資源は良いがそこに留めて消費させる魅力が薄い 旭川稚内間の魅力が薄い~沿線都市の特徴が薄い 長期間滞在できるような観光地が少ない、通過型観光地 細かく見ていくと道北各地に面白い遺跡などもあるが、面白いかどうかは人によるし他の道内地域に比べるとやはり観光地の魅力が薄い 大自然を楽しみたいが、サイクリングにしてもハイキングにしても整備がされていない。
			観光資源間に距離感がある。 映えスポットが少ない 他地域に比べ弱い観光地の魅力 道北に行かなくては、行きたい目的地を地域で作るべき。 地方都市の魅力の発信不足 本州等と同様な観光開発(北海道らしい自然を活かした開発が必要) 観光地間のアクセスの悪さ 観光資源が優位なところとそうでないところの格差が大きい 観光地の広域連携。 観光での食の発信不足。 地域の魅力をわかっていないため、地域の魅力コンテンツを発掘できないことや、それらの動かす担い手不足があるため、観光コンテンツとして発信できない。 一つ一つの観光名所までの移動距離が遠い 宿泊施設の少なさ ホテル軒数の不足 宿泊者数・外国人宿泊者数の不振 雨がふると、観光でいける箇所が少なくなる。 南エリアは観光に強く北エリ亞は弱い 観光の受け皿が整っていないエリアがある 観光地 オーバーツーリズム インバウンドの受け入れ体制が弱い 南部の観光は強いが北部は弱い 通過型の観光が多い(消費に貢献する滞在型の観光が少ない) サイクルツーリズムと言いつながら、車道路肩除草が悪すぎて、雑草の山しか見えないし、交通安全上も車からの見通しが悪すぎて良くない。冬の路肩堆雪の視距の悪さと変わらない。 北海道第二の都市であるにも関わらず、旭川では動物園に続く観光スポットがない 観光やドライブをするにしても旭川近郊なら少し行けば大きい公園、大きい商業施設があり子どもがいても連れて行きやすいが、旭川から北については正直不便なところは多い。 ホテルなど観光客の受け入れ態勢 観光案内標識などの整備 人口減少による担い手不足、観光の受け入れ、施設の維持の他、交通手段や宿泊場所の不足や不便さから、受け入れる側も観光する側も離しさがある。 観光資源に恵まれていなければ人も増えない 旭山動物園、富良野美瑛以外に観光地がない 旭川から宗谷までの観光アピールが下手。 オーバーツーリズム 観光地には人が集まるけれど、市街地にはなかなか人が来ない 大きなイベントが少なすぎる 旅行の道中や周辺観光もしたが宿泊先に困ったり、訪問先選びに困りました。 観光地の広域的な分散。 冬場が大変。富良野、旭川よりも北側、日本海、オホーツクではスキーのイメージがない 観光産業が弱い オーバーツーリズムによる地域住民への生活への支障 観光場所の看板がかかれている。いいものなのに残念 観光地が広域的に分散していることを活かしきれてない。 スイスの冬のリゾートサンモリツなどにあるようなオシャレなリゾートがない。 宿がない 遠いが宿がないのでなかなか来ることができない 青い池は観光地ではあるが、学習にはつながりにくい リピートしたいと思える観光資源の不足 旭川以北は立ち寄る場所が少ない ツーリング中に寄る場所があまりない 道北観光はどうしても通過交通になってしまふ。 外国人は団体バスなので、美瑛では、青い池とトイレ休憩のみ、ほぼ通過で町の収入にならない		観光する場所が分散しており回りにくい+宿泊施設の立地の悪さ。 観光資源は良いがそこに留めて消費させる魅力が薄い 旭川稚内間の魅力が薄い~沿線都市の特徴が薄い 長期間滞在できるような観光地が少ない、通過型観光地 細かく見ていくと道北各地に面白い遺跡などもあるが、面白いかどうかは人によるし他の道内地域に比べるとやはり観光地の魅力が薄い 大自然を楽しみたいが、サイクリングにしてもハイキングにしても整備がされていない。
地域産業	魅力的な就職先の少なさ 経済行為としてお金を稼ぐ(サービスの提供)、ノウハウがない 全ての業種で担い手不足 少子化や若い人たちの働く場所である企業の少なさ等が起因して若い人たちが残らない。 人口減少による担い手不足 人口減少による市町村の過疎化や農業関係の担い手不足 人口減少による、労働力確保 地域経済の弱体化。地域内の企業においては、ホタテ関連産業、行政庁舎建設による一時的な建設業特需のほか、苦しいものが目立つ。 人口減少に伴う人手不足。このため、一次産業の6次化が進まない、あるいは難しいところ。 積雪寒冷を活かした事業が創設されていないところ。 担い手不足 若い人が地元に残らず都会に出てしまうので跡継ぎがない、 2次産業の多くが中小零細企業による産業基盤の脆弱性 高齢化が進み後継者がいない 就農者不足 人手不足、若者不足 人口減少による担い手、働き手不足 若者の働き場所が少ないため、大都市に人が流れがち 若者たちが参入できるようにした方がよいと思います。 田舎には仕事がない 担い手不足 若い人が仕事を求めて町を出てしまう 若い方が出てってしまう(農家) 人口が少ない+地方部で働く所が少ない 働くところをつくってほしい 農業の担い手不足 働き口はあるけど人が来ない 進学・就職と共に上京する人が多い 担い手不足 仕事がない 観光客が多いが、食事処(ランチ)が少ない、入れない 地元民の場所も… 農業の担い手不足 企業間における競争原理が働いていない 人口減少、特に一次産業の担い手不足 条件のいい就職先が少ない。 農作物、木材資源、今は鉱業も廃れましたが鉱物・石炭資源、漁業資源などは、全て原料であり、加工する産業群が無い 人口減少の後継者不足 主産業が乏しく、高校・大学の卒業後の就職機会が狭く、若い人の流出が多い 農業後継者が少なく、ジリ貧になってきている 各企業の担い手不足	観光地 魅力的かつ高額所得可能な業種・職種による求人	観光資源間に距離感がある。 映えスポットが少ない 他地域に比べ弱い観光地の魅力 道北に行かなくては、行きたい目的地を地域で作るべき。 地方都市の魅力の発信不足 本州等と同様な観光開発(北海道らしい自然を活かした開発が必要) 観光地間のアクセスの悪さ 観光資源が優位なところとそうでないところの格差が大きい 観光地の広域連携。 観光での食の発信不足。 地域の魅力をわかっていないため、地域の魅力コンテンツを発掘できないことや、それらの動かす担い手不足があるため、観光コンテンツとして発信できない。 一つ一つの観光名所までの移動距離が遠い 宿泊施設の少なさ ホテル軒数の不足 宿泊者数・外国人宿泊者数の不振 雨がふると、観光でいける箇所が少なくなる。 南エリアは観光に強く北エリ亞は弱い 観光の受け皿が整っていないエリアがある 観光地 オーバーツーリズム インバウンドの受け入れ体制が弱い 南部の観光は強いが北部は弱い 通過型の観光が多い(消費に貢献する滞在型の観光が少ない) サイクルツーリズムと言いつながら、車道路肩除草が悪すぎて、雑草の山しか見えないし、交通安全上も車からの見通しが悪すぎて良くない。冬の路肩堆雪の視距の悪さと変わらない。 北海道第二の都市であるにも関わらず、旭川では動物園に続く観光スポットがない 観光やドライブをするにても旭川近郊なら少し行けば大きい公園、大きい商業施設があり子どもがいても連れて行きやすいが、旭川から北については正直不便なところは多い。 ホテルなど観光客の受け入れ態勢 観光案内標識などの整備 人口減少による担い手不足、観光の受け入れ、施設の維持の他、交通手段や宿泊場所の不足や不便さから、受け入れる側も観光する側も離しさがある。 観光資源に恵まれていなければ人も増えない 旭山動物園、富良野美瑛以外に観光地がない 旭川から宗谷までの観光アピールが下手。 オーバーツーリズム 観光地には人が集まるけれど、市街地にはなかなか人が来ない 大きなイベントが少なすぎる 旅行の道中や周辺観光もしたが宿泊先に困ったり、訪問先選びに困りました。 観光地の広域的な分散。 冬場が大変。富良野、旭川よりも北側、日本海、オホーツクではスキーのイメージがない 観光産業が弱い オーバーツーリズムによる地域住民への生活への支障 観光場所の看板がかかれている。いいものなのに残念 観光地が広域的に分散していることを活かしきれてない。 スイスの冬のリゾートサンモリツなどにあるようなオシャレなリゾートがない。 宿がない 遠いが宿がないのでなかなか来ことができない 青い池は観光地ではあるが、学習にはつながりにくい リピートしたいと思える観光資源の不足 旭川以北は立ち寄る場所が少ない ツーリング中に寄る場所があまりない 道北観光はどうしても通過交通になってしまふ。 外国人は団体バスなので、美瑛では、青い池とトイレ休憩のみ、ほぼ通過で町の収入にならない	観光	観光する場所が分散しており回りにくい+宿泊施設の立地の悪さ。 観光資源は良いがそこに留めて消費させる魅力が薄い 旭川稚内間の魅力が薄い~沿線都市の特徴が薄い 長期間滞在できるような観光地が少ない、通過型観光地 細かく見ていくと道北各地に面白い遺跡などもあるが、面白いかどうかは人によるし他の道内地域に比べるとやはり観光地の魅力が薄い 大自然を楽しみたいが、サイクリングにしてもハイキングにしても整備がされていない。
				自然環境	積雪寒冷な冬 気候や環境が厳しい 雪 一年通しての寒暖差が70°C以上になること 他の地域に比べ冬に降雪が多く気温が低いところ 冬季における自然環境の厳しさ(強みにもなるが) ふゆの寒さと雪の気候多さ 積雪寒冷地で夏期期間が短い 夏はむしろ暑い!暑すぎる!! 圧倒的に寒い 冬は家の閉じこもりがち 極端に寒いところ 寒い所 寒い雪が多い 雪が多い 吹雪、地吹雪が多い 夏が短い 熊が怖くてアウトドアを楽しめない 熊が出る 雪が多い 冬季の豪雪・猛吹雪 雪が多い the自然を生かせてない、発信力、地域連携 夏暑い(エアコンない) 雪が多い 雪をうまく使っていない 雪が多い 市街地にも鹿が多い(稚内) 雪が多い 熊が多い(麦畑に出る)ので安全第一 寒い 雪が多い 雪が多い 積雪寒冷地
				脱炭素・温暖化	カーボンニュートラルに向けた要素不足(石狩湾新港や宗谷 地域の風力、苫小牧におけるCCUSの取組等と比較し、競争 力の弱さ) 再生可能エネルギー 資源はありますが、法制度が古いため 新たな環境系のベンチャーが入りにくい。 バイオマスはそこまでサステイナブルではないと思う レンタカー渋滞による環境破壊
				くらし	人口少ない エッセンシャルワーカーの担い手不足 医療格差 人口減少 高齢化 もともと人口が少ない地域ではあるが、近年は人口減少に拍 車がかかっている 高等教育格差 人口減少 医療格差 コミュニティ縮小による閉鎖的な社会体制 冬は道路が滑る 人口が少ない。(旭川以外) <対策>若いひとを呼ぶ施策が 必要。高校生まで医療費ゼロなど 若手が少ない。(高齢化) <対策>若いひとを呼ぶ施策が必 要。移住すれば古民家を無料で差し上げるなど 医療機関が旭川に集中。 中核になるべき都市(旭川等)が人口減少により弱ってきて しまっている 冬期間の生活環境の不便

くらし	旭川市等都市部はそれなりに病院もあり、旭川市は人口に対して病院の数が多いと聞いている。対して山間部町村は病院が診療所になつたりと、医療格差は広がる傾向にある。 医師の働き方改革の件もあり、地域間の医療格差は今後もっと広がる懸念がある。 地域間の医療格差 人が外に出ない 地域間の医療格差 高齢者が暮らしていくのが大変 寒暖差が激しいので人が暮らすのが厳しい 冬期間の移動に時間がかかる 冬期間の生活環境の不便 地域全体が人口減少 中核となる都市においても人口が減少 道外転入者への生活関連情報が不足 冬への備えなどの理解を促進するための情報提供 閉店時間が早い（8時には全て終了） 夜の活動がしづらい 人口減少 空き家問題 除雪 東川の大雪山湧水を旭川でも利用できないか 学校が少ない 過疎地 移動には車が必要 若者の遊ぶ場所が少ないと、大都市に人が流れがち 閉鎖的（外からくると感じます） 人の流出 どこに行くにしても遠い 医者不足 なんとなく閉鎖的。 学生のための自習スペースが少ない 人口減少 人口の減少 高齢（単身）世帯が多いので買い物や病院などへの足の支援など、どう支えるか 人口減 医療第三次医療施設への輸送、ドクター自身が運転しての派遣地へ向かう現制度はドクターの事故等のリスクが大きい 人口減 大学など高等教育機関が少ない 豊富な農水産物生産地域における脆弱な医療機関 人が少ない 除雪 医療格差（特に稚内方面） 買い物が不便 旭川以北は専門学校・大学がない 若者が流出する 養護学校の数が少ない 旭川以北は広すぎて、高齢化すると食料品の確保も大変になる町が多くなる コンビニが1軒もない町がある 生活するには不便 移住者向けの賃貸住宅情報が少ない 旭川以北は冬期の生活が大変そう 場所によって除雪技術・丁寧さに差がある 服を買う場所がない 医療格差 中心都市の旭川から離れた地域の過疎化 都市機能が不足（病院、商業施設、娯楽） 人口減少 高齢化 地域間の医療格差 除雪が間に合っていない 旭川を除く宗谷地域の医療過疎 技術系大学の未立地 郡部では買い物難民地域が多い。 納税額が低い 街全体が綺麗ではない 地域間の医療格差、医師不足 人口増加地域の先生、教師不足 高齢化や近隣商店不足による買い物難民の増加があるのではないか	交通・物流	交通の便が悪い。特に主要な空港がなく、北海道にアクセスする大多数人が新千歳空港を利用するため限られた休日の内で道北まで移動しにくい 空港へ短時間のアクセス。 公共交通サービスの脆弱さ。 交通網の脆弱さ、自治体間の距離があるため、広域での政策を取りにくく。 交通網の弱さ（遠いとか公共交通が少ないと） 来るハードルが高い 旭川から稚内が遠いので4時間以内に到着できるようにしてほしい JR等がなくなり交通手段がない方も増えている 都市間距離が遠い。〈対策〉交通・情報ネットワークの整備、中継輸送など。 JR等がなくなり交通手段がない方も増えている 都市間の交通網が脆弱（高速のミッシングリンク、鉄道網等） 旭川～十勝で高規格道路が計画されているが、まだ富良野市近辺でしか開通していない。 公共交通機関の不足 高規格道路が繋がってないため観光客誘致の障害 公共交通機関が少なく車がないと移動が大変 都市間交通網が脆弱 JR網が衰退してきている 2次交通の不足（旭川空港や旭川駅から観光地まで） 地域間移動手段（ドローン）搬送など早急に行い現状搬送、交通機関を見直す 公共交通の便が悪い（便が少ない、雪による遅延、運休） 高規格道路のミッシングリンク 上川管内にアクセスできるインフラが少ない 旭川から稚内までなどの公共交通が不便 交通の便 バスの便数あれば… 道路整備してほしい 高規格道路が稚内までつながっていない 旭川十勝道路の進捗が遅い。 旭川駅～旭川空港のアクセスがイマイチ悪い。 バスの便数が少なく、街に密集している バスを待つ際の並ぶマナーが悪い エリアは広大だが高速道路が中途半端 高速交通網がまだミッシングリンクになっていて旭川から稚内間が繋がっていない。 観光、物流が発展できていない。 公共交通機関はいくつもあるべき。道路、空路、鉄路。特に、鉄路は新幹線を延伸すべき。 豪雪により冬期間は交通網が脆弱になるところ 山岳が多いため都市間を結ぶアクセスルートが限定されているところ 高規格道路で移動時間を短縮することは、地場産業、医療体制等にとって必要なことだと思います。 吹雪のイメージが強く、安全で安定した交通機関に懸念材料がある（公共交通が弱く、個人車移動が多いので、移動を控えてしまう） 自動車無しでの生活・観光が難しい 高速交通ネットワークのミッシングリンク 上富良野町内 道路がガタガタ 運転しづらい 自転車で走るとき道ががたがたとしていて漕ぎづらい 札幌から遠い（距離がハードル） PAが少ない 冬道が狭い 建設が中止になってしまった道路があり、回り道しなくてはならない箇所がある 交通が不便 冬に行けない 稚内から旭川に買い物に行くのが不便 音威子府～中川間が走りづらい 道が狭くて走りづらい 札幌から行ける交通手段が限られている 通行止めの際に迂回路がない 交通の便が悪く、遠い JRで移動するには費用感がある。 鉱山・炭鉱の衰退やトラック運搬の発達によって鉄道利用が減ったことを受け、当初二次的な運搬対象であった乗客も過疎によって減ったとの理由で廃止の対象となる 道内の中心地でありながら高速交通網の整備が遅延しており、観光・物流の拠点となっていない 高規格道路等のミッシングリンク 発達していない交通網（高規格道路の未整備、次々と廃線されている鉄道網、バスの減便など） 交通手段が少ない 都市間が遠い	交通・物流	面積に比して道路が狭い（一車線が多い） 高速道路が短い 高規格道路ネットワークの未完成 特に宗谷地域が高速ネットワークから外れていることが観光や産業の振興の遅れにつながっている。 公共交通の便が悪い。 移動に時間がかかる。 交通の便に改善の余地 道路に穴ぼこがある 広大な地域のわりに交通機関が限られており、移動に関しての労力が大きい。生産空間として 鉄道（宗谷線、石北線、富良野線）の先行き不安。無くなったら道北は終わる。 車が無ければ移動が難しいと考える人が多いところ。自転車、公共交通の活用が少ない。
その他	河川が多いため豪雨災害に見舞われやすいところ 人口増加時代のままの都市構造 知名度 アピール不足。 田舎だからと諦めている風潮がある。 地域格差（札幌一極） インフラ整備（すでに工事が進んでおり、だいぶよくなっている） すべての面で旭川一極集中しているところ 地域で連携した首都圏などへのPRが不足している 他の地域が強すぎ 上川とか道北で勝負するのが難しい（道央、道南に比べるとマイナーカーがある） 廻り 工場跡が目立つ 地域の強みの認識不足 ふるさと納稅に魅力的な返礼品が少ない（海が無いのも影響） 旭川の平和通り買物公園の人通りがかなり少ない（車道に戻すべき） 最近、犯罪が目立つ 人口は減少するのは歪めない、キャバに合った開発 ラピダス、ニセコ、新幹線など、将来的に見ても道央一極集中が今後加速する。道北地域への玉玉施策や注目されることが少ない。 利便性ワルイ 自然を生かした建物、イベントが充実していない 昨今のニュースでのイメージなど 「自然」以外の強みのなさ。 拠点となるブロックの市町の連携感がない。 美容院が少ない 最新映画が札幌でしか上映されてない場合がある 安いのはいいがお金の回りも少ない 道北の魅力を地元（道民・日本人）は意外と理解していない→海外の方のほうが知っている・わかっている 暗い寒い、旭川以北はロシアという印象 遠い 中学生の学習場所の題材となる場所がない 旭川の科学館は大人数で入りにくい 官民連携はもとより、国、道、市町村レベルでの連携、民も含めて機関内、団体内それぞれ組織内でも他との連携が稀になっている現状 「同意と共感」の協創、その上の協働連携の創出、強化が見失われている。 内地（本州など）に収容され、内地で付加価値を受けられた製品を高額にて購入するなど、北海道開拓時代からつづく経済構造が甘んじている 広範囲な町の分散 札幌や旭川が遠い 道北地区は縦に長くまとまり感がない、各市町村の距離もあり協調も難しいと思われる 「名寄」の知名度が低い 札幌一極集中 2番目旭川まで大差あり 歴史あるものがあるのに、継承する人がいない。 文化面での発信不足。 地元の人が自然の素晴らしさに気がついていない。	安全・安心			
交通・物流	高規格道路のミッシングリンク 稚内への高速交通手段の欠如、地域間の公共交通の脆弱性、高規格道路等のミッシングリンク 交通の便が悪い 車社会である以上、旭川空港から稚内付近までの道路がイマイチ。 都市間の移動、高速・JR 交通の不便さ	PAが少ない 冬道が狭い 建設が中止になってしまった道路があり、回り道しなくてはならない箇所がある 交通が不便 冬に行けない 稚内から旭川に買い物に行くのが不便 音威子府～中川間が走りづらい 道が狭くて走りづらい 札幌から行ける交通手段が限られている 通行止めの際に迂回路がない 交通の便が悪く、遠い JRで移動するには費用感がある。 鉱山・炭鉱の衰退やトラック運搬の発達によって鉄道利用が減ったことを受け、当初二次的な運搬対象であった乗客も過疎によって減ったとの理由で廃止の対象となる 道内の中心地でありながら高速交通網の整備が遅延しており、観光・物流の拠点となっていない 高規格道路等のミッシングリンク 発達していない交通網（高規格道路の未整備、次々と廃線されている鉄道網、バスの減便など） 交通手段が少ない 都市間が遠い			

3.道北地域にとって機会（チャンス、転機）となりうることは何だと思いますか？

【220の回答】



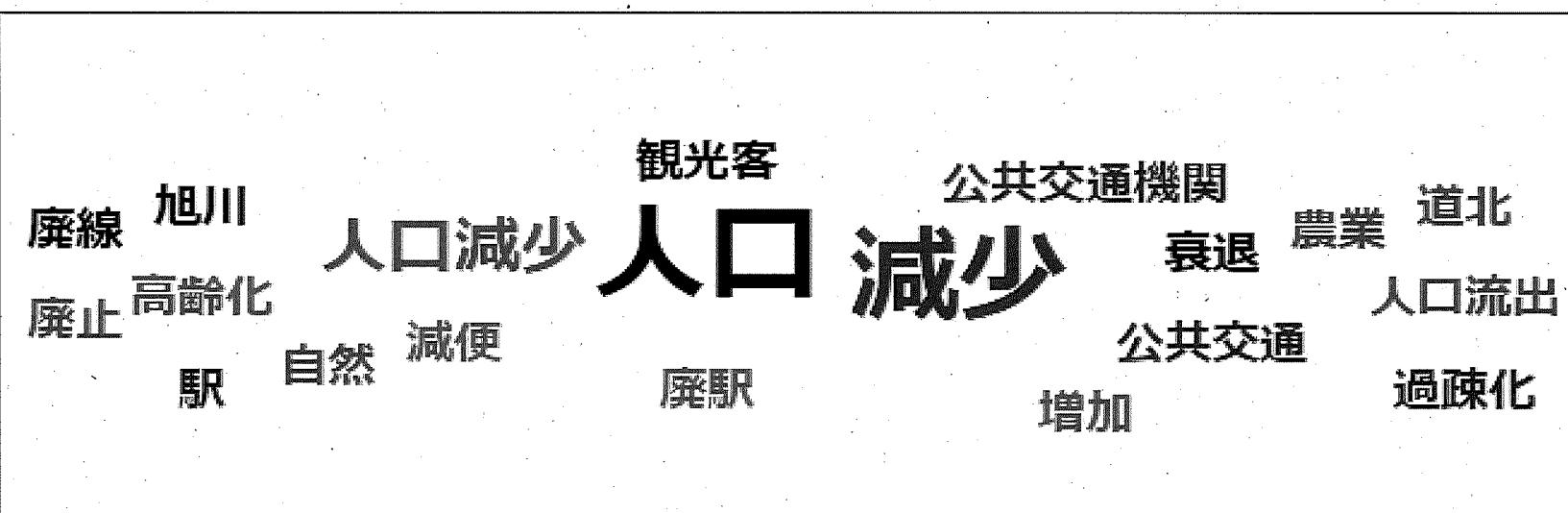
※一部の誤字等について編集しています。

食・農産物	スマート農業 インフラ整備はかなりクリアされてきましたが、食に対する整備、特に農業をもっと若い人達でも経験値のない人にでもできると言うイメージを植えつけるためにもAIなどを使うことが必要だと思います。 美味しい食べ物を守るために担い手不足問題の解決が急務のためスマート農業を推し進める対策が必要だと思う スマート農業 豊かな農産物等の生産空間 スマート農業の推進。観光産業の投資 スマート農業の発展は広大な土地のある北海道にとっては今後更なる強みになると思う スマート農業 特にドローンの使用 大都市からの新規就農者の受け入れ等での活性化 酒造りの誘致 ブランド確立した農業生産品の流通 スマート農業の推進 カボチャ等地元で食べられる店を増やす 温暖化により米 上川の酒 気候変動を利用した養殖、栽培の変化を取り込む 温暖化による農産物の産地の北上化が進んでいる。多様な農畜産物の産地となる農業の推進。 スマート農業による生産性向上 スマート農業・林業による生産性向上と高収益 広大な土地を生かした農業の推進。 インスタで道北地域のスイーツがバズっている 農畜産物の道内外・世界へのアピール とてもすばらしい品質・味の農畜産物がたくさんあります もち米日本一! 水が豊富。 北海道産の食材が多い(「北海道産」)を大々的にアピールすべき コメ不足 温暖化による多種多様な農作物生産 食料自給率向上に向けての食料基地としての役割が重要 農産物や海産物の生産空間として大きなキャパシティを持っている。	観光 インバウンド 観光客 誘致 拡大	風力 地 增加 温暖化 観光 道北	発展 地震 など スマート農業
	バウンダリーツーリズム（国境周辺観光）の振興・プロモーション、商品造成 豊かな自然を利用したインバウンドを含む観光。 地域を活かした観光開発 電線の地中化(自然景観への配慮) 観光列車等の活用による鉄路の維持 海外からの観光客の増加 オーバーツーリズムと真逆のこと。 個人観光客の増加 夏期の観光客の増加 各地域からの観光客が増えている インバウンド 雪が降らないインバウンドの観光客が北海道にたくさん来ていること。この方々に北海道の魅力を伝えることがチャンスとなる。 サウナブームに便乗した大自然など地域資源の有効活用 コロナ明けの観光客増で発信のチャンス到来なので、人が来ているうちにいろいろやる 雪を活かしたスキーや インバウンドの受け入れ環境を整備 観光案内所の多言語化 インバウンドの体験型、滞在型の観光増加 観光客受け入れ体制の伸びしきがある サイクルツーリズム 冬期のインバウンド増加の拡大 インバウンド 東川の写真甲子園 外国人から観光客誘致 グリーンツーリズムによる地域活性化 サイクルツーリズムの推進 サウナブーム グランピングブーム インバウンド観光客を一度きりの訪問ではなく、毎年来てもらえるなどリピーターを増やす インバウンド観光のさらなる増加 サイクリングやトレイルの環境整備 サウナブームなどでの温泉施設の再評価 層雲峠, 豊富など インバウンド 本州からの旅行者による情報発信 観光客多い キャンパーが各地に来ている 稚内はなかなか行けないからこそ、行ってみたくなる道の駅があるといろいろなところに行くきっかけになる 富良野は夏も冬もインバウンドが見認める 産業関連のお祭りによる集客 インバウンドを含めた観光客の増加 外国人や高齢者増加, 多様なニーズ～観光資源の見直し(外部の目) 聖地巡礼 コスプレ大会 インバウンドの活用 インバウンドを含めた観光客の増加 道の駅スタンプラリーで各地を回ると、その地域の特色が見える アドベンチャーツーリズムによるインバウンド インバウンドを含む高価格の観光客の増加。	脱炭素・温暖化 観光 自然環境	地域内における再エネ生産のポテンシャル；エネルギー関連を原因とする所得の地域外への流出を軽減できる可能性 SDGsの盛り上がり 「SDGsを体感できる場」 「地球規模の課題解決を共創する場」 新たにバイパスができそうであること 環境、エコ意識の高まり 木質バイオマス、発電 未利用間伐材(林野庁と連携。環境省から補助) ゼロカーボンシティ 温暖化はむしろチャンス(地域にとっては) 地球温暖化が進むなか、冷涼な気候がチャンス 下川町のバイオマス 風力、地熱、バイオマス発電と北海道本州間連係設備(日本海ルート)の整備計画が進展 夏にも雪を使って資源にする(雪室による冷房など) 温暖化で北海道以外は暑すぎるので、北海道は大丈夫!! 風が強い(風力発電に活かせる) 風力発電 北海道の再エネ電力を首都圏に送る北海道本州間連係設備(日本海ルート)の整備計画が進展 風力発電が良い(洋上)	くらし 交流人口の拡大 コロナ禍後の、人の往来 人口の増加、産業の発展 SNSを使い発信・地方に人が集まるように 地域おこし協力隊や都市からの有数な人材に知恵と行動で助けてもらえる。 田舎暮らし、スローライフの高まり 「住み続けられるまちづくりを」 生活スタイルの変化や価値観の多様性 旭川周辺町の人口増 移住者を増やす。 大学の公立化→若者の移住、定住につながる? 賃金上昇 生活が豊かに テレワーク 一時移住者の定住 本州の酷暑、地震増加、在宅勤務、～道北の冷涼、地震も少ない→住みやすさ(通信環境や移動環境重要) ICT活用のメニュー拡大。テレワークの浸透による就労環境の変化
地域産業	半導体の工場や企業誘致 ICT ICT産業 スマート酪農・スマート漁業・スマート林業の推進 千歳の半導体事業のような、巨大な雇用の創出 産業クラスターの形成 ICT 様々な業種で横断的なインターネット活用の効率化 巨大企業の誘致 企業誘致 大手企業などがきて、一緒に地域を盛り上げられればよい。 外国人労働者を受け入れて第一次産業を活性化させてほしい 地域の子どもたちに早くから国際教育を施して、国と国を行き来して産業や工業を発展させる担い手を、育ててほしい 道北地域には、一次産業×二次産業×三次産業=六次産業化が実現できるインフラや土地・人材などの取り組める環境がある。 内地と比べて、特に道北は地震が少ない。精密機器の制作会社やデータ蓄積の基地を作ることも重要な日本の宝。 半導体誘致 風の強い地域にデータセンター、サーバー設置大企業の誘致 働く場を増やすような公共事業 敷地を有効活用できる産業・工業等の誘致 スマート農業の推進 ラビダスの完成(ICT工場) 道外誘致企業との連携	高規格道路整備 幹線道路網の充実化 空港・港湾を活用した他地域との交流 自動車の無人運転に係る実証実験 2環状8放射の高速道路網が完成すること 自動運転のレベル4実装 広大な土地を活用した自動運転、水陸両用車、燃料電池車などの実証 高規格道路などの社会基盤整備による時間距離の大大幅縮短→一次産業供給がスムーズ 移動手段として自動運転バス 公共交通事業が進んでいる(高規格道路など) 2次交通対策 新幹線の延伸による観光客増 平和通り(歩行者天国)を車道化することで昭和通りの交通の混雑緩和 直線が長くて路肩が広い 自動運転バス 新幹線の旭川延伸 北海道新幹線の旭川延伸 公共交通網の整備による利便性の向上 車ありきだから不便ではない 車があれば便利 高速ICが近い 旭川空港からのLCC就航による観光客増加 JR特急列車の札幌旭川間高速化で札幌まで60分で結ばれ、札幌への通勤が容易になる 高速交通のミッシングリンク解消による移動、物流の活性化 音威子府バイパス開通によってアクセスが良くなる 稚内までの高規格道路の早期完成が道北地域の発展に不可欠		
観光	観光でのインバウンド増加 アドベンチャーツーリズム、ネイチャーポジティブ 観光客 広大な田園風景 観光地や特産物を生かした、観光客の増加	人間が心地よく住める気候。 自然環境の保護 雪 雪が多いことがむしろチャンスになる 自然が好きな人が多い(イメージ) 広大な土地 温暖化。道北には住みやすくなる可能性 地球温暖化、国際情勢不安 再エネを地産地消できるようなデータセンター等の電力大需要企業・事業の誘致 自然エネルギーの活用(地熱・風力・雪や氷) 自然エネルギー バイオ産業 地球温暖化に伴う避暑地開拓 温暖化による、稻作地範囲の拡大。	直線が長くて路肩が広い 自動運転バス 新幹線の旭川延伸 北海道新幹線の旭川延伸 公共交通網の整備による利便性の向上 車ありきだから不便ではない 車があれば便利 高速ICが近い 旭川空港からのLCC就航による観光客増加 JR特急列車の札幌旭川間高速化で札幌まで60分で結ばれ、札幌への通勤が容易になる 高速交通のミッシングリンク解消による移動、物流の活性化 音威子府バイパス開通によってアクセスが良くなる 稚内までの高規格道路の早期完成が道北地域の発展に不可欠	

安全・安心	<p>天災がない 災害(地震)が少なく、データセンター誘致に有利 地震が少ない 災害要因が少ない 多少の水害、雪害はあるかもしれないが、地震が少なく、少しのインフラ整備で発展可能性大 地震が少なく平均気温も低いのでデータセンターの立地。 地震少ない 地震災害が極めて少ないとから大規模災害避難民の避難施設の整備 地震、水害が少ない</p>		
その他	<p>All時代についていく! 地域が（官民協同で）主体的に行動する機会を与えなければならない。 地域市町村及び地域企業がやりたいことを発信させ、それを実現していく。 緯度が北にある 積雪寒冷地仕様の技術の確立 積雪寒冷地を活かした実験 北海道の中心にある立地 9期計画 原子力発電所からの距離が遠い 東川町は湧水が良いので、みな地下水を利用しておらず、水がおいしいので、東川町の湧水を旭川でも飲めるようにする。 現在、どういうことをしている・計画しているのかが不明瞭で何がチャンスになるかわからない。市町村もどこに力を入れているのかわからない。 SNSや動画投稿サイトで餅米の発信 自転車 富良野・美瑛の知名度高い 旭川オリンピックの誘致 駅前開発の範囲拡大（無電柱化） スポーツ、文化による発展 少ない人数でも分かり合える人に出会えるチャンスがある。 開発の余地がある 人が集う場所がほしい 何もない（田舎）を売りにかえる。 ブラジリアン柔術全日本級大会の誘致 マイナースポーツの本拠地（ラグビー、ソフトボール等） 大人ひとりひとりの気持ち、今ある素敵な素材の見つめ直しや再確認 きちんと人を拾い上げることができればお金の回りも…ホテルとか…食事… 冬虫夏草などの希少種の漢方薬 インスタグラムを通じた情報発信 次世代を担う若者たちへ世代を超えた各層からの賛同、支援が求められているこのタイミング パラスポーツ、障害者団体などの先進的な活動 特にない。地道に頑張るしかない。 大きな機会は無いと思う。地道に学んで話し合いをする他ないと思う。</p>		

4.道北地域にとって脅威（ピンチ）となりうることは何だと思いますか？

【224の回答】



※一部の誤字等について編集しています。

食・農産物	流水が少ないとによってプランクトン現象による海産物の不漁 異常気象 人口減少 特に農業への若手の担い手不足が深刻 熊やシカによる食害 後継者がなく特産品が作れなくなる 野生動物による農作物への被害	脱炭素・温暖化 くらし 人口減少 人口減少 若い人が、札幌や大都市圏へ流失すること 人口低下 仕事の減少 人口減少 人口減少 都市消滅 過疎化 人口減少を指すてるだけの地域が多い事 人口減少 人口減少と高齢化 高齢化や転出による人口減少 稚内市、留萌市が圏域の拠点として機能を発揮できなくなること 若年層の人口流出 地域を支える若者や働く世代の都市部への流出が止まらないこと。 高校の廃止や、医療格差が広がることにより、若い世代が子育てや生活を諦めること。生活の根底を失っていくこと。 若年層の都会への流出 札幌市などの都市部への生産人口の流出による働き手不足 人口流出 人口減少による不利益 (JRの減便・企業の撤退等) 除雪が大変！年齢を重ねるにつれ、脅威となっている。 時間との戦い。自動運転実装前に入り減少による担い手不足による地域衰退。 人口減少による、各市町村の能力低下→市町村としての維持能力の喪失 人口減少 人口減 旭川以外の人口減少 大学生が都会に流出し地元に残らない 人口減少によりインフラ環境の維持が困難 インフラの維持ができないことで更なる人口減少にも繋がる 消滅可能性自治体の拡大 女性人口の減少が顕著な自治体が増えている 人口減による雇用先の減少 地域間の人口格差 人口減少 少子高齢化で人口減少 人口減少 学校が無いため、若者が必然的に大都市に行かざるを得ない状況。少なくとも今の大學生を大切にする。 仕事の中核部分を大企業が占めること。 人口流出、担い手不足 少子高齢化による人口減少、生産年齢人口減少 都市圏に比べて最低賃金が低い 働く場所が少ない 人口減少、若者不足。 人材流出 医師が3人→1人にしてほしい(担当医を固定してほしい) 子どもが少ない 人がいない さびしい 少子高齢化 過疎化 人が行きたがらなくなる 人口減によるインフラ維持コスト増加 大都市への人口流出 少子高齢化 一時移住者への支援不足による定住機会の喪失 高齢化 人口減 都市部集中 少子化による廃校の増加 人口減や人口流出 高速道路がつながると中間都市が廃れてしまう 札幌の発展に伴う旭川地域の衰退 人口の減少、少子化 人口の減少	くらし 人口減少 超高齢化 人口減少 激しい人口減少による過疎化や限界集落の多発。 国境に接する地域の衰退 人口減少。
地域産業	産業の衰退とそれに伴う過疎化。 地域外チェーン店の過剰進出による地域内での仕入れ等の減少から、域内企業の弱体化による地域経済、住民所得の低下 生産者の減少 働き手が不足しランチ営業を辞めたホテル等が増えてる 経済が衰退し、スタートアップの力が無くなっていること 人口減少に伴う過疎化で、さらに施設や店がなくなる チャンス・転機を逃すことで地域が衰退する。産業が出来ることで人口減少となる。働く場所がないと人口は流出する。結果、JR・航空等も衰退する。 農業、その他職業も働き手不足 権門などを操作する人の後継者不足 働き先の減少による若者の定住減少 前世纪の異業種交流、産学官民連携の良い点、他分野との交流と連携への発展の機会が喪失してしまったこと 道北及び北海道全体での交通網整備遅延による産業の衰退 時代に即した基幹産業の創生不足による地域衰退(人口流出) 列島温暖化に即した農産物育成計画の推進不足(農業衰退) 人手不足(高齢化) 海外資本企業の増加。	くらし 人口減少 超高齢化 人口減少 激しい人口減少による過疎化や限界集落の多発。 国境に接する地域の衰退 人口減少。	交通・物流 旭川からアクセスが悪い。 旭川空港、旭川から北のPRが無い。 移動手段が少ない 公共交通機関がもっと充実してほしい JR やはり広い土地であるため交通輸送等を減らさない事が大事だと思います。 交通の不便さ インフラ機能の整備や維持管理の弱体化により食の運送や観光客の輸送が危ぶまれること JRの減便はピンチ。一部廃駅はやむなし。 鉄路の減少 JRの減便 JRの廃止やバスの減便・廃止は、地域を衰退させる大きな要因となる。 JRの減便 JRは営利企業なので、収益の上がらない路線の減便、廃駅はやむおえない、昨今ロシアが不穏なので線路は残しておくれべき。 宗谷本線の廃線論議、大企業の撤退(縮小) 交通が脆弱
観光	冬期・夏期とかたよって人が集まる、一年中人が集まるよう 世界情勢の変化などによる観光客の減少 オーバーツーリズム(青い池など) オーバーツーリズムで来るのを避ける人が多くなるかも 外国人観光客が増えて物価が上昇し地元住民が住みづらくなる(一部地域だけはやっても駄目) 宿泊料金が上がっている(観光客以外にはピンチ) 観光客が一気に押し寄せる支障 オーバーツーリズム 観光へ力点を置きすぎて地元への意識が低減しているのではないか 冬の観光資源が少ない 若者の旅行(ドライブ)離れ 豊かな自然環境を初めてとする観光資源に過度に依存した場合、コロナなどの世界規模の感染症が発生した際に地域経済が著しく衰退すること。 インバウンド観光の弊害	くらし 人口減少 超高齢化 人口減少 激しい人口減少による過疎化や限界集落の多発。 国境に接する地域の衰退 人口減少。	地方公共交通ネットワークの縮小への懸念 新幹線の延伸 JR、バスなどの公共交通機関の衰退、減便 公共交通機関の衰退 居住地が広く点在していることによる物流の問題 学校教育に特色が見られない 公共交通機関人が乗らない区間廃止 JRが寸断され観光客も減少 公共交通の減便、路線廃止(鉄道、バス、飛行機) JRの宗谷線が廃止されていくこと ドライバー不足 稚内方面の公共交通機関のアクセスが悪い→旭川→稚内の都市間バスの廃止 北海道内のいわゆる札幌圏以外の地方は共通かもしれないが、交通網、公共交通機関の減少、災害時の孤立化など。 除雪作業員不足による交通麻痺 高規格道路延伸によるJR利用者減少に伴う廃線 トラックドライバーと農家の担い手不足による農産物出荷の停滞 公共交通機関の減少 旭川がオホーツク・道北の物流の端末になっている JRがよく止まる JRが寸断されている 生産資源等に対する輸送手段の未整備 JRの本数減 JRの減便、廃駅 飛行場との連絡が今ひとつ。 子供、老人の交通手段 JRの減便、廃駅 JRの減便、廃駅 公共交通の減少 道北で工業でも農業でもいいものを作つても輸送がネック JRの減便 公共交通の劇的な衰退、JR網の縮小(民間事業による切り捨て) JRの減便→利益優先を考える前に、利用するお客様の立場に立つて考えているとは思えない。昔は、損をして徳を取れと言ふ諺がありました。今は、目の前の利益ばかり 本来、豪雪などの影響が少ないはずのJRの廃線や減便による冬季間の確実な交通手段を失う続けていること JRの廃線 (高規格ができるとJRが廃線になる) 留萌線など年寄り子供の足が少なくなる。 JRの廃線・廃駅・減便。 二次交通の悪さ
自然環境	自然環境の破壊 観光地が年に1度訪れる満足すること 豪雪地帯特有である雪害 雪害 自然災害が増えて真夏の暑さがひどくなっていること 野生動物の増加 夏季の暑さ→対策が進んでいない 北海道も暑い 夏の暑さがつらい 熊が人里へ出没する脅威。 自然を壊してほしくない 自然の破壊 危険野生動物と自然共生	くらし 人口減少 超高齢化 人口減少 激しい人口減少による過疎化や限界集落の多発。 国境に接する地域の衰退 人口減少。	地方公共交通ネットワークの縮小への懸念 新幹線の延伸 JR、バスなどの公共交通機関の衰退、減便 公共交通機関の衰退 居住地が広く点在していることによる物流の問題 学校教育に特色が見られない 公共交通機関人が乗らない区間廃止 JRが寸断され観光客も減少 公共交通の減便、路線廃止(鉄道、バス、飛行機) JRの宗谷線が廃止されていくこと ドライバー不足 稚内方面の公共交通機関のアクセスが悪い→旭川→稚内の都市間バスの廃止 北海道内のいわゆる札幌圏以外の地方は共通かもしれないが、交通網、公共交通機関の減少、災害時の孤立化など。 除雪作業員不足による交通麻痺 高規格道路延伸によるJR利用者減少に伴う廃線 トラックドライバーと農家の担い手不足による農産物出荷の停滞 公共交通機関の減少 旭川がオホーツク・道北の物流の端末になっている JRがよく止まる JRが寸断されている 生産資源等に対する輸送手段の未整備 JRの本数減 JRの減便、廃駅 飛行場との連絡が今ひとつ。 子供、老人の交通手段 JRの減便、廃駅 JRの減便、廃駅 公共交通の減少 道北で工業でも農業でもいいものを作つても輸送がネック JRの減便 公共交通の劇的な衰退、JR網の縮小(民間事業による切り捨て) JRの減便→利益優先を考える前に、利用するお客様の立場に立つて考えているとは思えない。昔は、損をして徳を取れと言ふ諺がありました。今は、目の前の利益ばかり 本来、豪雪などの影響が少ないはずのJRの廃線や減便による冬季間の確実な交通手段を失う続けていること JRの廃線 (高規格ができるとJRが廃線になる) 留萌線など年寄り子供の足が少なくなる。 JRの廃線・廃駅・減便。 二次交通の悪さ
脱炭素・温暖化	地球温暖化が要因と思われる自然災害等の増加 温暖化の進展に伴う農産物への影響。 地球温暖化の進展 温暖化による農業生産物の転換、冬期積雪減少によるインバウンド減 ゼロカーボンシティで何をしているか不明(留萌などでは洋上風力) 温暖化による雪質の変化 漁業、農業など温暖化に対応する収穫の変化への投資 地球温暖化の進展 スキー場等の地球温暖化による雪不足 米不足(地球温暖化が原因か) 気候変動による農作物の収量減	くらし 人口減少 超高齢化 人口減少 激しい人口減少による過疎化や限界集落の多発。 国境に接する地域の衰退 人口減少。	地方公共交通ネットワークの縮小への懸念 新幹線の延伸 JR、バスなどの公共交通機関の衰退、減便 公共交通機関の衰退 居住地が広く点在していることによる物流の問題 学校教育に特色が見られない 公共交通機関人が乗らない区間廃止 JRが寸断され観光客も減少 公共交通の減便、路線廃止(鉄道、バス、飛行機) JRの宗谷線が廃止されていくこと ドライバー不足 稚内方面の公共交通機関のアクセスが悪い→旭川→稚内の都市間バスの廃止 北海道内のいわゆる札幌圏以外の地方は共通かもしれないが、交通網、公共交通機関の減少、災害時の孤立化など。 除雪作業員不足による交通麻痺 高規格道路延伸によるJR利用者減少に伴う廃線 トラックドライバーと農家の担い手不足による農産物出荷の停滞 公共交通機関の減少 旭川がオホーツク・道北の物流の端末になっている JRがよく止まる JRが寸断されている 生産資源等に対する輸送手段の未整備 JRの本数減 JRの減便、廃駅 飛行場との連絡が今ひとつ。 子供、老人の交通手段 JRの減便、廃駅 JRの減便、廃駅 公共交通の減少 道北で工業でも農業でもいいものを作つても輸送がネック JRの減便 公共交通の劇的な衰退、JR網の縮小(民間事業による切り捨て) JRの減便→利益優先を考える前に、利用するお客様の立場に立つて考えているとは思えない。昔は、損をして徳を取れと言ふ諺がありました。今は、目の前の利益ばかり 本来、豪雪などの影響が少ないはずのJRの廃線や減便による冬季間の確実な交通手段を失う続けていること JRの廃線 (高規格ができるとJRが廃線になる) 留萌線など年寄り子供の足が少なくなる。 JRの廃線・廃駅・減便。 二次交通の悪さ

安全・安心	<p>災害 激甚自然災害、高速道路の割引き減少 十勝岳活動の動向 十勝岳の火山噴火 災害が少ない分、防災意識が低い 災害の激甚化、頻発化 十勝岳噴火の危機 十勝岳30～40年周期で噴火（前回は平成元年で35年）</p> <p>雨・河川増水などの災害 地下空間が少ない。 河川が多いことから気候変動による豪雨の多発など水害によるリスクが高まっていること。 自然災害の頻発化 線状降水帯の頻発 噴火による大規模攪乱、戻すときにどうしていくか 大雨、十勝岳噴火などの自然災害。 雪や雨の激甚化～大規模災害</p>		
その他	<p>国際情勢 放射性廃棄物処理場が近くに来てしまうかもしれない。 自衛隊の撤収 デジタルや新しいエネルギー源など、新しいことに対応しようとか、変化しようという気概がなくなること インフラの整備不足など 円安 旭川では悪いニュースが目立つ 各市町村の能力、地域維持能力の喪失懸念 過疎の町については、優秀な人材は都市へと出て行き高校生が大人になったような輩でコロニーが形成され独自の部落文化を確立している。それらはプライドが高くていじめや近隣の市町村同士で仲が悪い傾向がある。 地域外資本による、いわゆる植民地型再エネ開発 道北地域の方向性をある程度でも定めていかないと、道北地域のピンチは続くと思う。もうすでにピンチです。 いじめ問題でイメージダウン 物価の上昇 災害に対する知識を日頃より学習したいので、このような企画はとても良いと思います。水害時には大変お世話になりました。 景気の低迷 イオンがほしい カードショップほしい 生まれて60年近く、稚内には1回しか行ったことない(用事がない) 大人の当事者意識、主体性 人口減少による外国人の移住、乗っ取り。土地の取得。周辺国からの侵略。 今ある種(キノコとか)の保存を！ →国立公園や道の希少性の保護 行く理由がない 農業学習体験できる場所が少ない。富良野・美瑛は観光業特化で、学習の場として長沼や余市など他地域が選ばれるため機会喪失となりうる なんでも「それは出来ない」「やったことがないから無理」と言う考え方を持つ人に取り込まれてしまうこと。 そのうち富良野は中国人の街になりそう 現状に満足したり妥協すること デザインの原点、古きを変えて新しきを創出する機能が無くなっている 全てピンチとなりうると思います。たくさんありますね。 ロシア情勢 道北が良いところだと思う人が減ってしまうこと。</p>		

道北地域の「めざす姿」や、地域で「やりたいこと」、「こうなってほしい」など、あなたの想いを教えてください。

【304の回答】

道北地域 スキー場別 名寄産業 道北物販 北海道空港 ため

イベント 旭川 観光 観光客 少少 聖地 充実 整備 アピール

※一部の誤字等について編集しています。

めざす姿		
広域で仕事を分担する仕組み	温暖化が招く経済損失は、観光資源が豊富な道北地域にとっては危機的。それを回避させるカードニュートラルへの取組を多角的に実行することで新たな産業集積	道北を例えれば3~5エリアに分けて異なる3エリアで利用できる共通クーポンを発行する（旭川と十勝のガーデン巡りチケットのような）。
日本の食糧とエネルギーを担う存在プラス観光	と経済発展が可能になる。例えば、宗谷地域からの送電網整備に伴う蓄電池産業クラスター形成等。	旭川買い物公園がもっと有効活用、遊び、憩い、ダンス等、人の交流がある街づくり
官庁が主導して、札幌集中化を分散する。	農業と自然観光資源が豊かな土地に	豊かな自然環境特に河川が多くあることから、パドルスポーツ（カヤック・カヌー・SUPなど）を存分に楽しめるような河川環境や交通網の整備。
高規格道路を早く繋いで道央、道東へのアクセスを良くして物流や観光を多くすると、経済的にも良くなると思う。	まずは旭川を活性化して、富良野、土別、名寄、稚内、留萌、それから各町村へ波及させよう！	就航率99パーセントの旭川空港をもっと事業者等を含めてアピールするべき。各種イベントを安定して行うことが可能であることは強みになるのでは。
子育て支援、生活環境整備による移住者、後継者、労働力確保	地方のコミュニティーでも持続的に暮らしていく環境整備を！	アニメ等とのコラボを行っていけないか。他地域でいえば、小規模でも壮瞥町の様な事例も参考になると思う。
アドベンチャートラベルの聖地、ネイチャーポジティブと観光産業の地域資源の循環	道北地域の強みをより伸ばしていく	十勝岳ジオパークを世界ジオパークにする
東川町の取り組みがすばらしい！外の地域も同じように…習っていってほしい。	上川北部の伸びしろを支えて強みとしていく	富良野線の新しくなる観光列車に合わせて観光地の公共交通機関アクセスを改善してレンタカー頼りの観光から脱却する
住みたい町→活気ある、子供たちが安心してすごせる、シニア世代も見捨てない、そんな地域になってほしい。	上川北部の強みを外部へ発信していく	カーシェアを普及させて住民のマイカー所持の負担を減らし、公共交通機関の利用増によるカードニュートラルを目指す。
子供たちが安心・安全にくらせる場所になってほしい	より観光客を誘致していく	旭川市内の過度なマイカー依存からの脱却
いじめがない地域を目指して下さい	パウダースノーを活かしたウィンタースポーツの聖地へ！	豊富温泉で温泉と一緒に噴出する天然ガスの発電などへの活用
住みやすい旭川	夏のサイクリストの聖地へ！サイクリルート整備の促進！	旭川空港から各地域へのアクセス改善
やはり若い人たちが残りたいと思う様な各市町村などによるバックアップ(補助金など)が今以上に必要ではないでしょうか、また道北は冬になれば雪質もとても良く本州や海外からもお客様が来る程です。それを活かすためにスキー、スノーボードは勿論のことスノーモビルなどの特設会場の仮設も視野に入れてはどうでしょう。	2拠点生活の1拠点へ！観光だけじゃない地域の魅力への気づきを！	道北から、新しい教育環境、空気作りを構築し、そもそもここに住む人々が、ここを盛り上げたい、ここに住みたい、ここを次の世代に繋げたいと思える大人の空気にしてほしい!!道北から北海道へ、北海道から日本へ、日本から世界へ発信できる環境、空気をみんなで一緒に作りましょう!!
多くの農作物をこれからも採取できるよう技術を後継していくと同時に、後継者が減る分機械等で補い生産性は低下させてはいけない	道北地域ならではの学校教育の特色を打ち出そう！	生産性の向上
人材育成と若者の体重促進	老若男女バランス良く住める地域に	旭川から稚内間の交通網整備
地域の特産物を全国や世界に知ってもらうべく安全でスムーズな物流体制や道路等の整備と安定した農産物の供給を維持するためのスマート農業の普及	ICTを活用した雇用の掘り起こし	天塩川の改修
「最北かつ道内最大の風力発電の聖地」化。	旭川・変わり続ける街へ！	周囲の町（旭川とか富良野）と協力して分担をする（例）宿泊～ホテルが多い旭川、食事・観光～美瑛・富良野とか
命の危険を感じられるアドベンチャートラベル冬版の聖地化	持続可能な地域、ゆるやかな地域、あずましい地域！	地域の産業が潤うような取組（資金・資産・資源の好循環）
「道北」から直接「首都圏」「近畿圏」「世界」につながる人流・物流・デジタル網づくり	通過型の観光解消。ワーケーションを推進	やりたいことをやれる自由な雇用の創出
日本、世界に向かう情報配信をもっと行って観光産業の活性化をする。それに対応ができる体制を整える。	企業の福利厚生などで道北を周遊してもらい、関係人口を増やす	道路も増やしそれ以上小型飛行機を増やそう
観光地直行の観光開発ではその地点しか見られず環境破壊にもなりえるため、観光バスや車での乗入れを規制した自然環境を活かした長期滞在型の観光開発（観光地の開発は最小限にし拠点となる場所を整備）	季節の観光客の変動を少なくするため、冬のイベントを増やす	医療・福祉・インフラの充実
北海道観光の目的は、雄大な自然や食を楽しみにしていると思われることから、そこまで行く過程も大切（見なければ歩いてでも見に来る、整備され過ぎた所は都会にもある）	医療集積を強みとした健康増進、介護をテーマにした地域づくり	ヨガとかジムができる。
宮古島市の例のように、地域経済循環における域外への流出要素；いわゆるバケツの漏れ穴を塞ぐ対策による、地域経済の活性化と住民所得の向上	各地方の利点を取り入れた、観光、産業の開発	図書館で、（本を読みながら）飲食できるスペースを作ってほしい
夏のサッカーや陸上競技、冬のスキーなど、スポーツ合宿の聖地	自然の中で、安心してのびのびと子育てが出来る地域になってほしい。	スキー場のレベルは高いので、工夫すると世界各地からお客様が来るかも。
JR貨物の増便	自然災害の予防保全・交通安全・住宅の安全・流通（医療・食料）の確保、子育て支援など若者の生活が豊かになる地域。	インバウンドに頼るものわかるが、地域の中で循環できる仕組みが必要
農業と観光業を連携してよりブランド力のある地名を育てることで観光業者、農業者ともにメリットのある観光地にする	人・モノが集まる地域。	観光客が日本人より、外国人（団体バス）が多い。日本人にも、もっと来てほしい。
旭川空港を中継点とし道北方面のロードマップを作成し、観光客を呼び込む。	イベントや観光、仕事など、様々なジャンルで尖った取組により人が集まる地域となること	和歌山市民図書館のような、素敵なかつらの図書館が駅近くにはほしい
交通網（航空路や高速道路）をさらに整備することで、本州などからの観光客が往来しやすい状況をつくり、「遠くて近い」道北地域を作り出し、観光振興や物流・人流の便をよくしたい。	様々な農畜産物の産地化により、大消費地に供給できる体制づくりが進められるこ	米国やイスの人たちと日本では物価が違うので、地元（北海道民）価格と海外の人価格で分けてもらよいかも。（スキーリフトetc）
道北地域全体で道北ということをブランドに掲げられるような意識づくりと連携農家の所得向上に繋がる事業	観光開発	北海道パウダーベルトに名寄のビヤシリスキーフィールドを入れる。比布なども加えるべき。オール道北
道北をアドベンチャートラベルの拠点とする。（高付加価値なコンテンツが豊富なため、一箇所に滞在するのではなく道北が連携して回れるスキームを構築する）	きた北海道サイクリルートのナショナルサイクリルートに選定	北海道パウダーベルトにスキーフィールドを入れる。今カムイ+トマム+フラノのシーズン券があるが、200枚1回で売却される
若い人が増えてほしい！	鉄道や船舶による物流拠点の整備	風力発電は道北の強み、送電網の整備
食の聖地として、もっととんがってもらいたい。	野生動物（ヒグマなど）との共存。	スポートチームを誘致
若いひとが集まって、若い力で地域を盛り上げていく姿。	野生動物に負けない観光。	風力発電が盛んな地域の電力を地産地消できるように、データセンターなどの産業を呼び込んではどうか
若い起業家の参画、若い方の就農、漁業就業など。道北地域では若い方が活躍できる場、登竜門として若い方が集まる地域となって欲しい。（若い方が道北に行けばチャンスがあるって思って移住して欲しい）	田舎暮らしの聖地に	旭川近郊で、動物園以外の「これ！」というわかりやすい観光資源を作る
道北地域最大都市（旭川）の活性化→士別・名寄・稚内・留萌等の各市の活性化→町村の活性化	人が来てもらえるようなもののがほしい	そばの魅力をもっとPRする（幌加内）
温泉の認知度向上（北海道で温泉といえば、登別温泉。じゃらんで検索しても、蜃雲峠などはマイチ順位が低い。）	自然を活かした観光地に非常識な客も増えている。自然は壊れても元に戻すにはかなり時間がかかるので、守ることもしてほしい	大学などの高等教育の充実（特に名寄以北）
ニセコのような外国人観光客の誘致→富良野など	本州や道南に比べると地震災害が少ないので、非常時には避難場所としたり、対策本部を立てるなど活用してほしい	道の駅巡りが好き、道の駅をもっと充実させてほしい
道北に限らず、北海道は広大なので、日本の食糧基地としての機能を強化した方が良い。	冬季も安全、安心に暮らせる医療環境などの確保	（道央・道東・道北）周遊道路（高速）があつたらいい
昔から言われていることではあるが、戦略的な意味でも日本の食料自給率を上げるために貢献した方が良い。	安全にアウトドアが楽しめる環境の創出	高速道路の名寄～士別間の早期開通
強靭な防災地域と地域活動向上を目指したスマートシティー。	ナショナルサイクリルートはいいかもしれない国内はもう見込めないとして国外若者中心の賑わいの創生	豊富温泉をもっと盛り上げて観光客を呼びこむ
名寄近辺の観光資源乏しいので3エリアで伸ばしていく	食べもの、自然是全国どこでも それ以外の強みがあれば…	住宅等の夏の暑さ対策
地域の魅力を情報発信していくことが必要	子どもの医療費タダに	名寄のもち米は品質がいいので、アピールにより付加価値を上げて販路拡大をする（岩手の一蘭は見栄えを良くして餅文化を浸透させている）

めざす姿	やりたいことなど
現国道や市町村道を走って、ふと立ち寄りたくなる場所（景観でもグルメでも）が点在する方が楽しい旅行になる	名寄の中継拠点施設の完成 マルチワーカーやノマドワーカーの受け皿作り
「見る」だけではなく、特にインパウンドでは「体験」型、しかも日本なり地域固有の体験ができると良い	旭川市近郊のスキー場をオリンピックを目指す選手たちの強化場所として利用をする
風が強いことで風力発電施設も多いので、コンパクトな風力発電模型での仕組み解説や、実際に身近なものを動かしてみたりといった体験ができるとよい	広大な自然を生かしたイベント
ドクター自身が運転しての派遣地へ向かう現制度はドクターの事故等のリスクが大きいので、その対策が重要	航空貨物が旭川空港はまだ少ない。旭川空港に農産物中心の貨物サイトを作る
道北地域のスイーツマップなどをつくり巡れるようにする	道の駅の集客力を活かし、近くにキャンプ場など人が集まる空間を東川・留萌の道の駅たまご有名企業とのコラボ
沖縄の宿のように宿泊先は自炊ができる施設がもっとあると観光客が増えると思う。	大型トラックの中継場として、大型駐車場や飲食店舗等の設置
道北地域にJR貨物の復活。重い荷物を運ぶに貨物は安全、安く、早く運ぶことができる仕組みがあるといい。	名寄を物流拠点化するためのJR貨物輸送に係る可能性の検討。
産業・工業等の誘致のための環境整備が重要	女性1人でも絶景を楽しめる高機能キャンプ場の整備
冬の生活空間と有事で併用できるシェルターがあるといい。	農作物の生産について、何をどれくらい生産するかの管理を行い、価格の維持や廃棄の減少に繋げられるような事業
キノコの国立公園での盗掘（松茸や希少種 美瑛には希少種の保護）を守っていかなければならない	アウトドア系のアスレチックが増えてほしい
人口減対策として、コンパクトシティによる中心市街地の活性化をもっと進めるべき。	東川町の「写真甲子園」を地域拡大・メジャーに
滞在型の観光地を増やす。北海道の目玉となる観光地を道北にも増やすことで通過するだけというのを減らす。	木材のコラボ（ビームスとのコラボ（阿寒町））など新たなブランド化
こどもを対象にした圧倒的な魅力あるあそべる場所がほしい。	走るのが好きなので、景観を活かしたフルマラソンやウルトラマラソンを開催してほしい
パラスポーツ体験観光等から協創される新たなコミュニケーションづくりを活かして、それぞれが生きがいを持って「誰にもやさしい地域づくり」の継続が旭川市から大雪圏域へ、さらには上川、道北圏域にも広がるよう期待する。	フルマラソン大会の実施
不便でも、北海道内にて全てが成立つ環境や生活ができる基盤の整備をすることに尽きるとおもいます。それを良しとする、観光客や移住者を受入れて行けば良いと思います。無理をしてまで過剰なサービス提供を考える必要は無いと思います。	上川管内全体を盛り上げられる商品券
一つの町だけではなく、周辺地域が協力して観光資源等のアピールを！	婚姻率を増やすマッチング支援。若い女性に気に入ってくれる地域に。NPO等
温暖化対策としての小規模電力発電の先進地域化（夏季期間の電力供給地消）	地域間で連携してやる
高速交通網の早期整備による、観光・物流の中継拠点化	航空輸送の安定性をアピール
道北をアドベンチャートラベルの聖地に！	空港からJRへのアクセスをより良くする
美瑛から旭川までの道が通勤、空港からの観光客、農産物の運搬などの混雑で交通の流れが悪いので解消して欲しい	やり投げなどの夏のスポーツも盛り上げていこう！
道北をアドベンチャートラベルの聖地に！	冬のイベントを充実させよう、-41度！ 厳冬焼き肉など
森林資源や河川を生かした産業や観光を創出してほしい。	ピヤシリスキーフィールドのブランド化でインパウンドを呼び込む
それぞれの自治体の独自の個性をもっと打ち出してほしい。	マッチング支援
道東・道北の主要都市まで高速道路の延伸が必要	マッチング
高速道路がつながると中間都市が廃れてしまうので、一般国道の4車線化のほうが多い	デイワーク
子ども向けの心療内科を増やしてほしい	1日単位で農業働き手を募集
観光をもっと盛り上げる	サイクリルートを盛り上げる
食べ物をもっとおいしく	忠別湖親水広場にサウナ付きグランピング施設を作り、カヌー、サイクリング、釣りなどの体験型観光をやりたい。
河川敷を活用してほしい	層雲峠から旭橋まで川下りツアー
税金の使い方 消費税	大規模災害時には避難施設として利用可能な多機能アリーナ施設を整備し、平常時は老若男女が楽しめる生涯スポーツ（ブラジリアン柔術、武道、ヨガなど）のために利用可能とすること。
若い人たちが気軽に働ける環境づくり	特区に指定し、規制緩和。例えば、観光アクティビティで、ヒグマの狩猟体験、熊料理で地域活性化+ヒグマ抑制で地域も安心。
遠軽側・帯広側に高規格東西南北につなぐ	十勝の勝毎花火大会みたいな大きなイベントを開催
交通網（JR・バス）できれば残してほしい→国の援助。税金の使い方考えて	除雪車を使った除雪体験ツアー
河川が多いので、それを活かして何かイベントなどを行ってほしい	ご当地バーガーで町おこし
道北地域における旭川、富良野、名寄・士別・稚内、留萌の市レベルの行政・経済・産業界の連携・協力による活動、これに各圏域の町村の連携・協力による道北地域全体としての活動	文化的な活動を道北各地で（特に都市部）（例）盆地fes（和寒）かぼちゃ祭りあっても良い
人口過密地（首都圏、南海トラフ懸念地域、広島市、など）へ移住をアピールし人口倍増（10年で2.5万人から5万人）を目指す（各都道府県から約500人移住と考えると無理とは思えない）住むところはシャッターハウスを利用すればまた街中にも活気が生まれるだろう。仕事どうする？という疑問があるが、裕福でんびり暮らしたい人をメインゲット、また人口が増えれば仕事も増えるというもの。	幌加内のそば祭りを続けてほしい
獣害被害が増えていることから射撃場の整備を行い射撃をもっと身近なものにする、免許取得、銃保有をもっと容易なるように関係各所に働きかける	電動アシスト自転車で旭川市内（男山酒造、木工施設等）や富良野、美瑛を回りながら学習できるよ
道北地区は総じて長くまとまり感がない、各市町村の距離もあり協調も難しいと感じる。となるとそれぞれが発展するしかない。旭川はいいとして、富良野、名寄、稚内を移住推奨地区としてアピールし人口を増やす。それぞれが10万人都市になれば色々充実し、まわりの市町村にも恩恵が生まれるはず。大災害懸念や猛暑で大変な道外へ移住アピールを地道に行なうべきだと思う。	三千桜醸造のように、岐阜から東川へ移住していくように、国、自治体支援を充実させて地場産業の魅力を増やす仕組みづくり。
バスや電車で自由に自転車を運べるようにしてほしい	旭川に六次産業を目指したキッザニアを作る。
地域が特色を活かし発信することで、他県とのつながりを持つ	旭川空港の就航率を活かした物流拠点を作る。
目玉となる観光スポット、イベントを創出→道北をより知ってもらうため	大型スポーツ開催ができる施設整備。3万人収容できる施設。プロ野球、バレー、バスケット、アイスホッケー
高速道路をつなげる	多少距離があつても集客できるショッピング施設の誘致。コストコ、イケアなど。
道の駅を広く	旭川、美瑛、上富良野、富良野で冬季のレジャー園を作る。スキー場、スノーボード場、スノーモービル場を各地域で個性的に作る。宿泊や施設利用料金等は地域共通で行う
エネルギー資源を増やす	災害要因が少ない地域なので、国内最大の大規模データセンター基地化
観光で来る人は「北海道」="大自然"という考えがあると思うので、そこを狙った作戦を練ることで観光だけではなく移住者を増やすこともできると思います。	地震（津波）災害の災害対策基地化（道内の災害地の応援ベース基地化・資材等の備蓄）
観光場所が分散しているのであれば、その目玉となる観光場所の周りにも観光できるものを設けることで分散しているという意識を下げられないでしょうか。	石狩川や天塩川の河川敷を活用したサイクリングロードの整備
札幌は人口が多いのに豪雪地帯と世界的にも稀な都市なので札幌からも移住をアピール出来るのでは？（札幌は片側2車線道路に右折レーンがないなど住みにくいイメージ）	離農跡地を整備し、若手の永住者へのバックアップ（都会と田舎との距離が近い旭川近郊は、農業しながら子育てできる素晴らしい環境）
	自然を残していく取組（動植物など）
	むかし、河川敷で市民の方が集まってイベントを行っていたが、そういったことができなくなってしまっているので、できるようにしてほしい
	無駄な空き家を減らして、ドッグランなどを作つてほしい
	飲み屋などを増やしてほしい
	おいしいもの、特産品を集めたイベント
	名寄市の餅米はほぼ100%の餅米で抜群にうまいのでもっとアピールすべき。最近の米不足の時に「米がないなら餅米を食べよう！」とか宣伝しても良かったのではないか？（宣伝していたかもしれないが見たことがない）
	ピヤシリ山など頂上まで車で登られる山があるが、自家用車では厳しい、熊が怖いなどもありなかなか行くのは難しい。自治体や管理者がRV車を確保し、予約制の山登りタクシーの実施（車両トラブルがあった時のため、2台体制が望ましい）

やりたいことなど		
幌加内町はそばで有名だが、食べ方に工夫が見られない（幌加内町のそば屋に全部行きました）。そばそのものを味わうにはもりそばが基本ではあるが、もっと観光客ように工夫してもいいと思う 岩手県の平泉には盛りだしわんこそばという名物があります。普通のわんこそばとは違い色々な薬味を使って自分のペースで食べることが出来ます。幌加内町の道の駅にあれば、また一つ名物が増えると思います。		
道北には自動車、タイヤメーカーのテストコースが豊富である。テストコースと各自治体や商業企業が協力してのスタンプラリーなど（テストコース側に負担のならない企画が必要） 移住者や雪道初心者、雪道苦手者のための雪道訓練場。具体的には名寄公園のサブ野球グラウンドや王子マテリア跡地など広い平地を広げ、フルブレーキングやスピンを体験出来るようにする。安全で自由に走行出来るようにするのがポイント。こういう施設は聞いたことがないで実施すると話題かつ各地から練習希望者が集まると思われる		
技幸町には三笠山という街を見下ろせる山がある。残念ながら名寄にはちょうどいい山がない。せっかく天塩川と名寄川が合流する面白ポイントもあるが見るのはいい場所がない。合流ポイントと名寄の街を見渡せるタワーがあると面白い。タワーの展望エリアにはカフェ、軽食を併設。		
今やダムは観光の側面もあるが、道北にあるダムは古いものが多く観光面で弱いので、観光用の整備、企画を行いダム好きにアピールする。道北の主要ダムでスタンプラリーなどもありかと（ダム巡りはドライブ、そば、ダムカレー、温泉など絡めてうまいことやってる自治体もあります）		
稚内まで高速、高規格がつながるのはありがたいが、名寄にも立ち寄れるような取組をしてほしい		
食べ物（農産物、海産物）の良さをもっと道外・海外にアピール→売り上げUPを目指す		
地震や水害の少なさ、住みやすさをアピールして定住をはかる		
空き家をリノベーションして、一定期間でもいいので、人が住めるようにする 名寄市は地震が少ないと生かして核廃棄物処理場の誘致		
これから起こりうる南海トラフ地震、首都圏直下型地震、富士山噴火などの大災害を見越した移住アピール		
最近注目度の上がっているアイヌ文化に触れた観光地の模索。		
SNSやショート動画時代の現在、道北の魅力を積極的に発信。		
シャッター商店街や使用されていない学校などを利用したイベントでの貸し出し。		
稚内方面の風車電力、通信網の整備で国内最大のデータセンター基地整備 空港滑走路を伸長することで、大型機の発着・千歳空港の代替空港化、観光客の増加を図る		
農業用水路等を活用した小規模発電での地域おこし（地産地消）、農業の活性化を図る		
名寄の天文台きたすばるにてオーロラ観測が始まるのでオーロラの街としてのアピール（陸別がすでにやってるようですが・・・）		
天文台きたすばるはウェザーニュースライブとも関連があり、ウェザーニュースライブの視聴者に名寄の名前はかなり知れ渡っていると思います。（なにせ道外の人には旭川より北は稚内まで空白地帯なのでウェザーニュースライブは名寄の知名度向上に貢献されています）先日も女性キャスターが名寄の天文台に行ってみたいと番組中に言っておりました。春夏秋冬と女性キャスターを招き、名寄を体験紹介するのもありかと思います。		
幌加内高校のXアカウントが面白く閲覧数も比較的多い。こういった「好事例」箇所からコツを各自治体・機関に伝授出来ないか。		
旭川にはご当地Vtuber（旭川ユカラ）がいる。市のイベントへの参加実績もあるが、更なる協働・活用が出来ないか。		
いわゆる「お役所仕事」的な無難なものだけを実施するのであれば、ワークショップ等の意義も薄れると思う。とはいっても、闇雲なチャレンジもリスクが大きいと考えるので、他自治体等の成功事例等を参考にするのも手。成功している自治体等の心当たりを募ってみることは出来ないか。		
旭川家具の知名度向上のため、コラボ案件を検討できないか。伝統工芸とメディアコンテンツのコラボは各所で実績もあると聞き及んでいる。		
層雲峠温泉には「温泉むすめ」が設定されていると思いますが、もっと活用出来ないでしょうか。		
天塩川・石狩川の雄大な自然を活用した「カヌー・ボート」「フィッシング」によるアドベンチャーリズムを実現		
食糧生産空間として米、もち米、アスパラ、キャベツなど各地域に優れた地産があり、それらを活用した地域活性化を図る取り組みを構築できれば良い。		
旭川駅（忠別川沿い駅裏含む）～買物公園通り～常盤公園まで、食と買い物さらなる充実、音楽大行進、夏冬		
スキー場の活用、雪まつりなど冬期間の有効活用増進		
天塩川、名寄川、剣淵川の全ての堤防をサイクリングロードにしたい。 人が主役のモビリティ環境構築へ。車に偏った道路環境を歩行者・自転車・低速モビリティのための道路を作り替える。並行して高速道路やバイパスのある国道はすべて50km規制にして、自転車や低速モビリティが快適に走りやすい車線規制を行う。		
海外の方は、滝が好きな様です。川の中を歩ける様に整備したり、滝が見える様に整備するのは、いかがでしょうか？また、凍った滝もとても人気です。天人峡の様に大きな滝ではなくても、感動する様です。ダムでも良いと思います。		
旭川空港の安定性を活かした、冬期のライブイベント等の誘致。		
子供たちの教育や医療に力を点をおいてほしい（地域の情報教育）		
65歳以上の年寄りの働き場所の充実（シルバー的な）		
自然災害に対する備えの有効活用（体育館や公共施設の耐震化の進め）		
流域治水に関連した農地の保全や再編、公共施設等の充実（洪水対応強化、川のまち）		